

# クリスマス ギニア音楽演奏会

今年のクリスマス音楽会（女性会と福祉部会共催）は、12月24日、ぽかぽか陽気の日に柿の浦集会所で開催（66名の参加者）。昨年の東市民センターでの観月会でとても感動し、再度1区に来ていただきました。

西アフリカのギニア共和国の民族楽器、ジェンベ、ドゥンドゥン、バラフォンを演奏する夫婦ユニット。ダビットとヨーコ。ジェンベの音には「どんな逆境にいても、太鼓のリズムがあれば明日また立ち上がることができる！」というギニア人の持つ人生観そのもののメッセージが込められているそうです。哀調を帯びたダビットの歌声も心を揺さぶられました。

ダビットが日本の童謡から「焚火」の歌を選んでみんなで合唱しました。この歌詞は、昔の日本では、街角で人々が顔をあわせば、いつも声がけをしていたことがわかります。ギニアでも歩いていると、だれもが声をかけるそうです。

1区に住む私たちも顔を見たら、ちょっと一言声を掛け合いたいですね。

女性会会長 井上佐智子